

2026年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2026年2月13日

上場会社名 株式会社 安楽亭 上場取引所 東
 コード番号 7562 URL <http://www.anrakutei.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳 先
 問合せ先責任者 (役職名) 総務人事部 次長 (氏名) 町田 英之
 配当支払開始予定日 TEL 048-859-0555
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	22,989	1.9	947	7.8	855	11.9	558	17.6
2025年3月期第3四半期	22,556	1.4	1,027	23.5	971	27.2	677	6.2

(注)包括利益 2026年3月期第3四半期 605百万円 (10.6%) 2025年3月期第3四半期 677百万円 (3.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
		円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	121.03		
2025年3月期第3四半期	146.76		

(注)当社は、2025年10月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	25,757	7,962	30.9
2025年3月期	24,253	7,427	30.6

(参考)自己資本 2026年3月期第3四半期 7,962百万円 2025年3月期 7,427百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		0.00		30.00	30.00
2026年3月期		0.00			
2026年3月期(予想)				15.00	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2025年10月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。2026年3月期(予想)の期末配当金及び年間配当金につきましては、当該株式分割を考慮した金額を記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の2026年3月期(予想)の期末配当金及び年間配当金は30円00銭となります。

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,248	0.3	1,287	11.8	1,200	12.6	793	34.6	171.70

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、2025年10月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。2026年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

新規 社 (社名)

、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

以外の会計方針の変更：無

会計上の見積りの変更：無

修正再表示：無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

	2026年3月期3Q	2025年3月期	4,622,868 株
期末自己株式数	4,692 株	2025年3月期	4,434 株
期中平均株式数(四半期累計)	4,618,211 株	2025年3月期3Q	4,618,616 株

(注)当社は、2025年10月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数(自己株式を含む)、期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)を算定しております。

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善等緩やかな回復傾向が見られたものの、物価上昇による消費者マインドの下振れリスクに加え、米国の通商政策等国際情勢の不確実性が強まり、景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

外食産業におきましても、物価の上昇と実質賃金の伸び悩みによって消費者の節約意識はなお強く、また、原材料価格やエネルギーコストの高騰、人手不足及び人件費上昇等により厳しい経営環境が継続しております。

このような環境において、当社グループは、経営理念である「食を通じて地域社会の豊かな生活文化の向上に貢献する」に基づき、お客様の基本ニーズである「安全・安心」を最重視した自然肉の商品提供を堅持しつつ、近年の消費者動向の変容に適応し、お客様に選んでいただけるお店づくりを進めるため、コストパフォーマンスや体験価値を追求した商品開発及び販売戦略に注力しております。

店舗の展開については、引き続き既存店舗のリニューアル改装やグループ内での業態見直しを計画的に進めております。当四半期においては、安楽亭2店舗について、フォルクス及びしゃぶしゃぶどん亭への業態転換を実施いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高229億89百万円（対前年同期比1.9%増）、営業利益9億47百万円（対前年同期比7.8%減）、経常利益8億55百万円（対前年同期比11.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益5億58百万円（対前年同期比17.6%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 安楽亭・七輪房業態

安楽亭・七輪房業態の当第3四半期連結累計期間末の店舗数は153店舗であります。内訳は直営108店舗、暖簾11店舗、F C 34店舗であります。

販売促進及び商品開発につきましては、「安楽亭」では、お客様が気軽に来店し焼肉を楽しんでいただけるよう、引き続き「肉丼&焼肉セット」「ビビンバ&焼肉セット」等の「&(アンド)焼肉シリーズ」の販売や「昼も夜もごはん・スープおかわり無料」のサービス提供等、コストパフォーマンスの高いメニューとサービスを拡充しております。また一方、「特別な肉を 身近な場所で」のコンセプトのもと、ブランド和牛「松阪牛」をお得価格で店舗限定販売する等、付加価値の高いメニューの充実にも取り組みました。

「七輪房」においては、「赤身肉堪能キャンペーン」「おろしポン酢でさっぱりジューシー焼肉」「国産牛の甘み味わい半額クーポン」等、品質と美味しさの価値を実感いただけるメニュー施策を積極的に展開し、来店促進を図りました。

また、「安楽亭」「七輪房」とも、年末年始の忘新年会需要が回復傾向にあることをふまえ、宴会コースのバラエティを大幅に拡充し、「焼肉宴会」の集客に力を入れました。

以上の結果、安楽亭・七輪房業態の当第3四半期連結累計期間の売上高は81億38万円（対前年同期比4.3%減）となり、セグメント利益（営業利益）は1億44百万円（対前年同期比57.7%減）となりました。

② アークミール業態

アークミール業態の当第3四半期連結累計期間末の店舗数は135店舗であります（安楽亭から業態転換準備中の2店舗を含む）。内訳は直営133店舗、F C 2店舗であります。アークミール業態には、「ステーキのどん」、「しゃぶしゃぶどん亭」、「フォルクス（ステーキ）」を含んでおります。なお、当第3四半期において、11月に「フォルクス所沢店」、12月に「しゃぶしゃぶどん亭町田成瀬店」がオープンしております。

販売促進及び商品開発につきましては、ステーキのどんの「ステーキ屋さんのドリア」販売、しゃぶしゃぶどん亭、フォルクスの日替わりランチメニューのリニューアル等、メニューのバラエティを拡充して来店促進を図りました。さらに、しゃぶしゃぶどん亭では、年末年始の宴会需要の回復傾向をふまえ、「年末年始限定 至高の和牛フェア」を展開しました。

以上の結果、アークミール業態の当第3四半期連結累計期間の売上高は144億76百万円（対前年同期比5.4%増）となり、セグメント利益（営業利益）は10億92百万円（対前年同期比13.7%増）となりました。

③ その他業態

その他業態の当第3四半期連結累計期間末の店舗数は8店舗であります。内訳は直営6店舗、F C 2店舗であります。なお、その他業態には、「からくに屋（焼肉）」、「花炎亭（焼肉）」、「上海菜館（中華）」、「カフェビーンズ（喫茶）」、「安楽亭ベトナム（焼肉）」を含んでおります。

その他業態の当第3四半期連結累計期間の売上高は3億74百万円（対前年同期比19.4%増）となり、セグメント損失（営業損失）は13百万円（前年同期はセグメント損失47万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ15億3百万円増加し、257億57百万円となりました。これは、現金及び預金の増加、原材料及び貯蔵品の増加、有形固定資産の増加等が要因です。負債は、前連結会計年度末に比べ9億68百万円増加し、177億94百万円となりました。これは、社債の増加、長期割賦未払金の増加等が要因です。純資産は、前連結会計年度末に比べ5億35百万円増加し、79億62百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等が要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2025年5月14日に公表いたしました業績予想から変更しておりません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,191,117	7,521,962
売掛金	1,382,581	1,518,237
商品及び製品	752,787	908,781
仕掛品	8,472	6,356
原材料及び貯蔵品	964,971	1,306,236
前払費用	321,235	326,302
その他	40,801	110,211
貸倒引当金	△2,430	△1,730
流動資産合計	10,659,537	11,696,358
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,709,337	3,110,874
機械装置及び運搬具（純額）	46,225	38,536
工具、器具及び備品（純額）	543,912	730,165
土地	6,068,882	6,068,882
リース資産（純額）	106,948	119,971
建設仮勘定	6,864	13,864
有形固定資産合計	9,482,170	10,082,295
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	185,860	233,836
長期前払費用	54,580	45,102
繰延税金資産	345,743	163,386
敷金及び保証金	2,932,990	2,883,769
その他	27,443	27,453
貸倒引当金	△23,313	△23,313
投資その他の資産合計	3,523,305	3,330,235
固定資産合計	13,594,367	14,047,612
繰延資産		
社債発行費	—	13,347
繰延資産合計	—	13,347
資産合計	24,253,904	25,757,318

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,120,355	1,286,786
短期借入金	1,934,000	2,350,000
1年内返済予定の長期借入金	1,645,057	1,623,067
リース債務	42,043	49,055
割賦未払金	360,271	561,059
未払金	399,232	372,484
設備関係未払金	64,277	54,452
未払費用	844,004	880,407
未払法人税等	199,107	62,282
未払消費税等	163,672	145,706
賞与引当金	134,000	62,640
資産除去債務	—	2,328
その他	412,612	497,197
流動負債合計	7,318,635	7,947,470
固定負債		
社債	—	500,000
長期借入金	7,401,769	6,891,333
リース債務	141,498	144,983
長期割賦未払金	733,526	1,190,177
繰延税金負債	105,886	106,700
役員退職慰労引当金	168,365	178,076
退職給付に係る負債	392,632	382,541
資産除去債務	342,825	344,005
その他	221,500	109,463
固定負債合計	9,508,004	9,847,280
負債合計	16,826,639	17,794,750
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,790,461	3,790,461
資本剰余金	1,166,680	1,166,680
利益剰余金	2,418,618	2,908,084
自己株式	△13,269	△14,181
株主資本合計	7,362,492	7,851,045
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	50,569	95,632
為替換算調整勘定	12,892	15,311
退職給付に係る調整累計額	1,311	578
その他の包括利益累計額合計	64,773	111,522
純資産合計	7,427,265	7,962,568
負債純資産合計	24,253,904	25,757,318

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

	(単位:千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	22,556,360	22,989,542
売上原価	8,528,270	8,821,055
売上総利益	14,028,090	14,168,487
販売費及び一般管理費	13,001,011	13,221,274
営業利益	1,027,078	947,212
営業外収益		
受取利息	1,293	4,387
受取配当金	3,693	4,508
受取地代家賃	39,725	39,730
その他	25,651	34,257
営業外収益合計	70,363	82,883
営業外費用		
支払利息	102,431	156,526
支払手数料	3,329	1,000
賃貸収入原価	8,963	9,223
その他	11,302	7,502
営業外費用合計	126,026	174,252
経常利益	971,415	855,843
特別利益		
固定資産売却益	3,427	363
受取補償金	57,000	150,000
特別利益合計	60,427	150,363
特別損失		
固定資産売却損	128	—
固定資産除却損	26,777	19,314
減損損失	—	30,979
賃貸借契約解約損	14,601	42,727
特別損失合計	41,506	93,021
税金等調整前四半期純利益	990,336	913,186
法人税、住民税及び事業税	174,107	173,815
法人税等調整額	138,388	180,628
法人税等合計	312,495	354,444
四半期純利益	677,840	558,742
親会社株主に帰属する四半期純利益	677,840	558,742

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	677,840	558,742
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△267	45,063
為替換算調整勘定	709	2,418
退職給付に係る調整額	△640	△732
その他の包括利益合計	△198	46,749
四半期包括利益	677,642	605,491
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	677,642	605,491

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	安楽亭・七輪房 業態	アークミール 業態	その他業態	計			
売上高 顧客との契約 から生じる収 益	8,504,589	13,737,925	313,845	22,556,360	22,556,360	—	22,556,360
外部顧客への 売上高 セグメント間 の内部売上高 又は振替高	8,504,589	13,737,925	313,845	22,556,360	22,556,360	—	22,556,360
計	8,504,589	13,737,925	313,845	22,556,360	22,556,360	—	22,556,360
セグメント利益 又は損失(△)	342,235	961,268	△470	1,303,033	1,303,033	△275,955	1,027,078

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注) 2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	安楽亭・七輪房 業態	アークミール 業態	その他業態	計			
売上高 顧客との契約 から生じる収 益	8,138,932	14,476,007	374,602	22,989,542	22,989,542	—	22,989,542
外部顧客への 売上高 セグメント間 の内部売上高 又は振替高	8,138,932	14,476,007	374,602	22,989,542	22,989,542	—	22,989,542
計	8,138,932	14,476,007	374,602	22,989,542	22,989,542	—	22,989,542
セグメント利益 又は損失(△)	144,763	1,092,951	△13,589	1,224,124	1,224,124	△276,911	947,212

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注) 2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「安楽亭・七輪房業態」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当中間連結会計期間においては30,979千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	563,172千円	602,954千円